

## 令和7年度埼玉県退職校長会の主な行事予定

- 定期総会：令和7年6月14日(土)共催事業(講演会) 開催 児玉支部 会場 本庄市民文化会館
- 支部総会：5月 10支部10会場
- 支部長会：5月、9月、令和8年2月(年3回)
- 「彩の国教育の日」協賛、現・退職校長教育推進協議会：令和7年10月～11月 (各支部10会場)
- 現職・退職校長会役員研究協議会：12月
- 第28回囲碁大会：10月14日(火)別所沼会館
- 理事会：令和7年10月、令和8年3月(年2回)
- 県知事・県教委等への要望書提出：9月他
- 会報発行(年3回) ニュースレター(年2回)
- 第19回ゴルフ大会：10月21日(火)吉見ゴルフ場

### 支部情報

### <さいたま市支部>の活動紹介 (令和6年度)

- 定期総会：令和6年5月17日(金)15:30 ホテルブリランテ武蔵野4階 With You さいたま セミナー室
- 理事会：(正副会長・幹事・各班理事)年3回 ○ 幹事会：(正副会長・幹事)年6回
- 「彩の国教育の日」協賛 現職・退職校長教育推進協議会：令和6年11月22日(金)14:30市民会館おおみや
- ① 小学校教育の諸課題 大久保東小学校長 目黒 良作 氏  
「家庭や地域等との連携・協働と学校段階の接続・連携の推進」
- ② 中学校教育の諸課題 片柳中学校長 加藤 明良 氏  
「部活動地域移行の取り組み」一生徒・教員が希望する部活動に取組める環境づくりをめざして
- ③ 生涯学習上の諸課題 さいたま市退職校長会 金子 泰久 氏  
「森鷗外・森於菟とさいたま市」
- 会報発行：「さいたま市退職校長会会報」年2回発行 第40号(令和6年8月1日) 第41号(令和7年2月1日)
- 班活動：各班による福利厚生事業の実施と班相互の交流促進(会員名簿の作成、交流だよりの発行)

### 情報提供

### 令和7年度 教員採用選考試験結果

[ ]内は前年度

	埼玉県				さいたま市			
	1次受験者	1次合格者	最終合格者	倍率	受験者	1次合格者	2次合格者	倍率
小学校教員	1,282[1,399]	1,212[1,306]	758[719]	1.7[1.9]	356[431]	294[340]	100[200]	3.6[2.2]
中学校教員	1,544[1,647]	865[883]	453[453]	3.4[3.6]	420[517]	296[383]	60[100]	7.0[5.2]
高等学校等教員	1,125[1,247]	617[644]	302[307]	3.7[4.1]				
特別支援学校教員	287[357]	272[335]	202[202]	1.4[1.8]	67[128]	55[106]	22[70]	3.0[1.8]
養護教員	306[328]	75[91]	35[45]	8.7[7.3]	53[68]	36[43]	5[15]	10.6[4.5]
栄養教員	62[80]	11[22]	5[10]	12.4[8.0]	82[65]	48[32]	10[15]	8.2[4.3]
合計	4,606[5,058]	3,052[3,281]	1,755[1,736]	2.6[2.9]	978[1,209]	729[904]	197[400]	5.0[3.0]

### 令和7年度登載管理職選考試験結果

#### 埼玉県

#### さいたま市

	小中学校長		小中教頭		県立学校		さいたま市			
	7年度	前年度	7年度	前年度	7年度	前年度	7年度	前年度	前期	後期
受考者数	458(76)	502(89)	245(46)	263(58)	40(8)	46(15)	76(13)	6(1)	70(12)	8(3)
AB別合格者									45(8)	
AB別倍率									25(5)	
最終合格者	180(38)	181(38)	222(43)	239(54)	36(8)	40(14)	24(3)	2(0)	25(5)	1(0)
最終競争倍率	2.54	2.77	1.10	1.10	1.11	1.15	3.17	3.00	2.80	8.00

( )内は女性(内数)

### 班別会員数(令和7年1月末現在)

### 埼玉県退職校長会

支部	班名	会員数		合計	支部	班名	会員数		合計	支部	班名	会員数		合計			
		今年度	前年度				今年度	前年度				今年度	前年度		今年度	前年度	
さいたま市	浦和	128	141	363 (395)	入間	越生	24	26	161 (177)	秩父	秩父市	70	77	522 (538)			
	与野	35	39			毛呂山	28	29			秩父	31	35		春日部	74	77
	大宮	153	169			坂戸	55	57			小鹿野	31	32		越谷	99	99
	岩槻	47	46			鶴ヶ島	26	28			皆野	29	33		久喜	71	80
北足南部	川口	227	230	522 (525)	比企	入間	56	54	145 (148)	児玉	本庄	44	46	八潮	30	30	
	蕨・戸田	82	80			東部	70	72			本庄児玉	31	32	蓮田	34	35	
	草加	93	94			滑川	13	17			上里	24	24	三郷	50	51	
北足北部	朝霞	120	121	236 (235)	270 (289)	嵐山	24	24	333 (328)	大里	美里	12	12	白岡	24	24	
	上尾	113	114			小川	51	56			神川	34	34	宮代	31	31	
入間	川越	142	145	708 (720)	270 (289)	ときがわ	15	16	253 (269)	北埼玉	熊谷	175	176	幸手	37	38	
	狭山	77	76			鳩山	8	10			深谷	117	111	杉戸	27	29	
	所沢	129	129			川島	20	20			寄居	41	41	松伏	11	10	
	飯能	59	62			吉見	31	31			行田	69	69	吉川	34	34	
	日高	42	42			東秩父	13	13	加須	123	131	全会員数(10支部57班) 3,513名(3,624名) ※( )内は前年度1月末現在					



# 学習者用デジタル教科書の現状と課題について (埼玉県退職校長会)

令和7年1月21日、文部科学省は中央教育審議会のデジタル教科書推進ワーキンググループ(作業部会)に、デジタル教科書を「正式な教科書」として位置づけることを盛り込んだ論点を提示し、紙とデジタルのどちらを使うかを各教育委員会が決める「選択制」についても検討を求めました。

## 1 これまでの議論を踏まえた論点の整理について — 令和6年12月25日中央教育審議会諮問(概要)より —

### <現在の学校現場の状況>

- 現行学習指導要領は「社会に開かれた教育課程」を理念に掲げ「何を学ぶか」だけでなく、「何ができるようになるか」を明確化し、「どのように学ぶか」の重要性を強調し、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を提示
- コロナによる制約に苦しみながらも、GIGA スクール構想による1人1台端末環境も活用し精力的な授業改善が行われてきた
- 全国学力・学習状況調査や OECD の PISA 調査において地域間格差・学力格差の改善も見られている  
→ 我が国の初等中等教育は、質の高い教師の努力と熱意に支えられ、大きな成果を上げ続けている

### <顕在化している課題>

- ◇ デジタル学習基盤の効果的な活用
- デジタル学習基盤(※)は、一人一人のよさを伸ばし、困難の克服を助ける大きな可能性を秘めているが、効果的な活用は緒に就いたばかり
- 我が国のデジタル競争力は、国際比較でも低位であり、デジタル人材育成強化は喫緊の課題
- 「デジタルの力でリアルな学びを支える」との基本的な考えに立ち、バランス感覚を持って積極的に取り組むことが必要  
※ GIGA スクール構想による1人1台端末やクラウド、環境等デジタル学習基盤

### <導入の方向性について>

- 通信面や指導面も踏まえ、円滑かつ効果的な活用の観点から教科・学年を絞って令和6年度から段階的に導入
- 令和4年度の実証事業の実績等を踏まえ、令和6年度は、小学校5年生から中学校3年生を対象に「英語」で導入
- その他の教科については「算数・数学」など現場のニーズを踏まえて導入
- ※ 紙の教科書とデジタル教科書の在り方については、児童生徒の特性や学習内容に応じてハイブリッドに活用

### デジタル教科書の児童生徒への提供状況(国提供分)

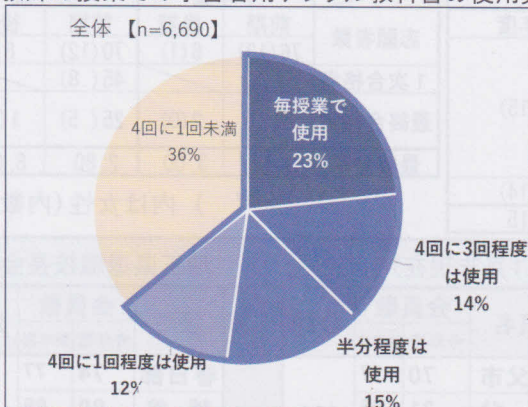
学年	教科	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
(原則) 小5-中3	英語	任意1教科 約40%	100%		
	算数/数学	うち 英語: 約7%	任意1教科 約70%	約50%	約55%
	その他	算数/数学 約12%	うち 算数/数学 約20%		

### <デジタル教科書・教材・学習支援ソフトウェアの関係について>

- GIGA スクール構想の下で、学校における「デジタル教材」や「学習支援ソフトウェア」等の導入が加速している中、今後も教科書が「質が担保された主たる教材」としての役割を果たしつつ、教科書のデジタル化により、デジタル教材等との接続や連携強化を図ることが学びの充実につながる。
- 児童生徒の将来を見据えながら、社会のデジタル化の進展に教科書・教材等も対応していくことが求められている。

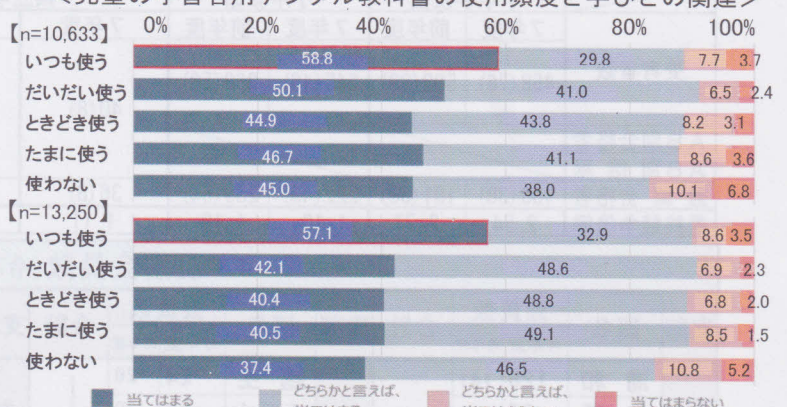
## 2 デジタル教科書をめぐる状況 (出典: デジタル教科書推進ワーキンググループ(第6回)参考資料3令和7年2月14日-文科省)

### <教師の授業での学習者用デジタル教科書の使用頻度>



小中学校の教師対象調査では、6割以上の教師が、4回に1回程度以上は授業でデジタル教科書を使用

### <児童の学習者用デジタル教科書の使用頻度と学びとの関連>



デジタル教科書を「いつも使う」児童生徒は授業内容がよく分かるという回答した割合が最も高い。特に中学生は、他と比べて15~20ポイント高い。

## 3 学校現場の状況 — デジタル教科書への全面移行、多くの校長は「強い懸念」…海外では「脱デジタル」へ転換も—

### <「再考 デジタル教育」> -読売新聞(2024.10.22,24,25)より抜粋-

- IIT先進国のスウェーデンでは、2006年には教科書を含めデジタル教材への移行が進んだが、昨年、学習への悪影響があるとして「脱デジタル」に大きく舵を切った…
- 国内では、通信環境の不備により端末が一斉に開かない、授業と無関係の画面を見ている等、集中力が阻害される…
- 公立高校では学習用端末の費用負担は公費か家庭のどちらにするのかを自治体に委任。保護者負担増に…
- 高校生は早期に操作を習得する一方、リスクに無防備に…

### <紙の教科書とデジタル教科書の考え方や使用上の懸念> -読売新聞の全国小中学校長対象アンケートより(2025.1.16)-

